

表1-1 南九州における祝い棒習俗

地域	名称	製作		形状			行事内容				備考	文献	
		材の樹種 学名<方言>	削り	頭 十字	縷 文様	形状 認識	行事名	行事 主体	唱え事	叩く対象など			
福岡県													
1	福岡市	唐泊 (ザウメギの木)	<ザウメギ>	-	-	-	—	初嫁の尻叩き	子供組	初嫁の尻叩き、叩かせんもんなあ鬼子生め、蛇生め	嫁		①
①福岡県教育委員会1964『福岡県文化財調査報告書29』													
大分県													
2	津久見市	保戸島 (新芽の松枝)	<松>	×	-	-	—	尻打ち	—	—	尻(誰の尻でもいいが男は女を打つ)	—	①
3	米水津村	間越など	尻打ち棒※	<柳>	-	-	—	—	若衆・子供	子をはらめ、子をはらめ	初嫁、未婚の女	※モウソウダケでも叩く	②
4	構江町	(漁村部)	はらめ棒	—	-	-	—	—	—	—	—	(詳細不明)	③
5	耶馬溪町	山移※	—	—	-	-	—	シリタタキ	家内中の人	—	男は女、女は男の尻	※旧大庄屋の行事	④
①津久見市1985『津久見市誌』 ②国学院大学民俗学研究会1975『民俗探訪(五十年)』 ③蒲江長教育委員会1977『蒲江町史』 ④耶馬溪町虚行く委員会1975『耶馬溪町史』													
佐賀県													
6	玄海町	諸浦※	—	×	-	-	—	ヨメゴの尻たたき	青年達	—	初嫁	※カズラが巻きついた木の枝	①
7		値賀川内	ネジコンボウ※	—	×	-	—	ダッセコ	子供達	ダッセコダッセコ嫁ご 盃出すか尻出すか 盃出さんぞ尻出すぞ 一番目はむすこん子、二番目はむすめん子、三番目はデーブンジャー(どちらでもいいの意味)	初嫁の尻	※ネジコンボウはコブのある木の枝で、カズラの巻きついたもの	①
8		外津※	—	×	-	-	—	シリワイ	男児達	ダッセコ、ダッセコ嫁御、出さぬ嫁御はオニゴ持てジャ持て	縁側の板	※カズラが巻きついた木の枝	①
9		仮屋	ヨメゴノシリタタキ	コウソノカゴ	×	-	—	ヨメゴダシ	子供達	ヨメゴの尻ば、打ったたけ	—	—	①
10	鎮西町	串※	—	-	-	-	男根	シリヤー	—	—	—	※シュロの木で男性性器を作る	②
11	浜玉町	東山田	横槌	—	×	-	—	シッタタキ	—	—	—	—	②
12	相知町	(字不明)	(ねじ棒※)	—	×	-	—	尻祝い	青年→子供達	来る十四日稲荷・びしゃもん・弁財天・七福神は残りなく、一番目は男の子、二番目は女の子、三番目から出ふうじゃあ	嫁の尻	※昔は青年が叩いたが、いまは子供たちに変った	③
13	北波多村	志木・山彦	(タラの木)	タラノキ※	×	-	—	初嫁御の尻たたき	少年の 一団	—	初嫁の尻	—	④
14	唐津市	高島※	<松>※	-	-	●	—	シッタタキ	—	—	—	※門松に用いた松にカズラをまいてすばらかして(燻して)巻き跡をつけたもの	②
15	伊万里市	波多津町ほか	嫁子の尻打棒	<榎>	×	※	—	—	子供	嫁御の持たせんかい／餅出すか、酒出すか、出さんにおいては、嫁御の尻うちボカーンショ	—	※一種の木槌	⑤
16		山代町・東山代町	※	—	×	-	—	ヨメノシリウチ	—	—	—	※カンネカズラの先にダイダイを通したものとヤカンコロを干したものをカズラでしばったもの	②

①玄海町町史編纂委員会1997『玄海町の民俗』 ②佐賀県教育委員会文化課1980『佐賀県民俗地図』 ③相知町史編さん委員会1977『相知町史』 ④北波多村史編纂委員会1963『北波多村史 下巻』 ⑤伊万里市市史編纂委員会1963『伊万里市史 本篇』、佐賀県教育委員会1974『佐賀県の民俗 下巻』歴史図書社

表1-1 南九州における祝い棒習俗2

地域	名称	製作		形状			行事内容				備考	文献			
		材の樹種 学名<方言>		削り	頭 十字	縷 文様	形状 認識	行事名	行事 主体	唱え事			叩く対象など		
長崎県															
17	市町村不明	ハナモンジョー	<イタブ>	○	●	—	—	(ハナモンジョー)	子供	ミノサイナー	女	—	①		
18	(彦岐)	(字不明) ジョーメ	タラノキ	—	—	●	—	ミーレミーレ	?	錢もミーレ、金もミーレ	金箱、戸棚、俵、 箆笥	—	①		
19	芦辺町	(字不明) ※	※	×	—	—	—	尻打ち	少年達	尻打たせん者ア鬼のような子もて、尻打たする者ア花のような子もて	女の尻	※正月の年縄の橙子に紐をつけたもの	②		
20	上対馬町	舟志	コッパラ	<ダラ>	×	—	●	—	コッパラたたき	子供の 集団	祝いましょう、息子じょう持たさし	家の門口に 立てかけた木	—	③	
21		鱒浦・泉・ 西泊	コッパラ	—	—	—	—	嫁のしりたたき	—	息子もて、子もて、玉のような子もて／パー持て	子のない嫁	—	③		
22	上五島町 新魚目町	新魚目 ・今里ほか	コッパラ	<竹>	×	※	—	▲	—	コッパラ	男児	コッパラもって子もって、オナゴ(女子)んシツ(臀部)バ、 ウツタケ	女の尻	※青竹を手元六～七寸を残して細かく小割 したもの(大正中期までは藁打用の穂と同 形の棒に花や馬の絵を描いたものを用いる 集落も)	④
23	奈留町	(島内 数ヶ所)	たたき棒	<ダラの木>	×	—	●	—	シリタタキ	—	一五日のしりたたき、たたかせたもんなめめんよか子もて、 たたかせんもんは、しゃじゃわつ(魚の名)の子もて	娘や初嫁の尻	—	⑤	
24		大串	シリタタキ棒※	アカメガシワ< ショーハンノ木>	—	—	—	—	尻たたき	男児	オナゴンシリタタキ	女兒の尻	※ショーハンノ木に紐をつけたもの	⑥	
25	三井楽町	(字不明) ※	※	<センナリの木>	—	—	—	—	シリタタキ	少年達	かさくれ子ば持つなよ、よか子ば持てよ	女の尻	※拍子木をつくり、糸でつないだもの (※引 用者註:「センナリ」はセンナレマンナレと呼ば れる成木責め行事に由来するか)	⑦	
26	玉之浦町	大宝	短い棒	<ポッポラン>	—	—	—	—	シリタタキ	少年達	今日はなんの日か、シッタたつの晩の日、よか子ばもつご とパッ、パッ、パッ	女の尻	※女性は逃げながら<ダラの木>で防戦する (※引用者註:<ポッポラン>はニワトコカ)	⑧	
27	野母崎町	野母	花紋状	<イタビ>	○	●	—	—	ミイサイナー	—	—	※	女が通るのを待ちぶせしていたずらをした	⑨	
28		樺島	ヘリマンジュー シリマンジュー	<イタブ>	○	—	—	—	—	—	十四日のシリマンジュー、祝いましょう	初嫁の尻	—	①	

①山口麻太郎1972『日本の民俗 長崎』②芦辺町史編集委員会1978『芦辺町史』③新対馬誌編集委員会1964『新対馬誌編集委員会』④上五島町2004『上五島町郷土誌』、長崎県教育委員会1964『民俗資料調査報告書(昭和39年度)』⑤奈留町役場2004『奈留町郷土誌』⑥長崎県教育委員会文化課1974『下五島貝津・大串の民俗』⑦三井楽町1988『三井楽町郷土誌』⑧玉之浦町1995『玉之浦町郷土誌』⑨山中熊七1973『野母の風習』『野母崎町郷土誌』『野母崎町』

熊本県

29	苓北町	坂瀬川	花まんじゅう 人形※	<柏木>	※	—	—	—	—	—	孕まんしょう 子生まんしょう 中(腹)の子はいつできる 嫁 御ん尻ば打叩け	初嫁の尻	※<柏木>の小枝を削って人形を作る／<柏 >の削り屑をその家において帰る	① ②
30	龍ヶ岳町	大道(嫁叩き)	<榎>	○	—	—	—	—	初嫁の尻たゝき	子供達	嫁御の尻打たう、打たせたものは、めめんよか子もて、打た せぬものは、鬼もて蛇もて。一つ二つ三つ!	白の尻	—	③
31	御所浦町	御所浦(嫁叩き)	<榎>	○	—	—	—	—	初嫁の尻たゝき	子供達	嫁御ん尻打たう。打たせぬ者は、鬼のやうな子もて、蛇の やうな子もて	白の尻	—	③
32	天草町	高浜ほか	はるまんじゅう	カワヤナギ ネムノキ	○	—	—	—	—	子供達	祝ワセナッセ、嫁御ノ尻打トウ。打タセタ者ニヤ、メメンヨカ 子持タショウ。打タセン者ニヤ、角生エタ子持タショウ	初嫁の尻	—	③ ④

表1-1 南九州における祝い棒習俗3

33		大江	ハナマンジュウ	カワヤナギ	○	—	—	—	—	子供達	—	※	昔は打ったが、今は棒をもって廻るだけ	③
34		唐崎	花まんじゅう	<柏><柳> または<榎>	○	—	—	—	嫁の尻打ち	子供達	嫁ご出せ出せ、打たさんもんには角の生えた子をもたすぞ ／嫁ごん尻打つと、打たさんもんには、めめん悪か子もた する。打たせたもんには、めめん良か子もたする	初嫁の尻	—	②
35	河浦町	富津	モウグラ	—	○	—	—	男根	初嫁の尻たゝき	—	嫁御出せ、出せ	初嫁の家	—	③
36	牛深市	魚貫町	ハルマンジュ	カワヤナギ	—	—	—	—	—	—	嫁御出せ嫁御。出さんもんには角ん生えた子もたしゅ	—	—	③
37		久玉町	花まんじゅう	<柳>	○	—	—	—	花嫁のじご打ち	子供達	—	初嫁の尻	—	①
38	芦北町	(字不明)	しりうち	<柳>	?	—	—	—	—	—	—	若夫婦の尻	—	⑤
39	津奈木町	(字不明)	尻打ち	<柳>	? ※	—	—	男根	尻打ち	青年達	祝います／嫁ごの尻ア四つ、婿ごんの尻ア六つ／かかん 尻ア限りなし	嫁の尻	※柳の半分から末のほうを火にあぶって、こ ぶし型になるように巻いた	⑥
40	水俣市	(字不明)	(嫁叩き)	ネコヤナギ	? ※	—	—	—	嫁ごん尻打ち 嫁ごん尻叩き	子供や 青年	婿ごんな六つ、嫁ごは四つ	新婚夫婦の尻	※枝を十本ほど束ねて、よく撓うように火で あぶって柔らかくしたものの	⑦

①山下陽一2003「小正月の行事」『あまくさの民俗と伝承13』天草の民俗と伝承の会 ②熊本商科短期大学民俗学研究会1976『天草』下島 ③濱田隆一1932『天草島民俗誌』郷土研究社 ④天草町郷土誌編集委員会1978『天草町郷土誌』 ⑤芦北町史編集委員会1977『芦北町誌』 ⑥津奈木町誌編集委員会1993『津奈木町誌』 ⑦水俣市史編さん委員会1997『新水俣市史 民俗人物編』

宮崎県

41	須木村	麓	ハラメ棒	<柳>・エノキ	○	—	—	男根	ハラメウチ	子供組	ハラメ、ハラメ、外を祝うか、内を祝うか	(外)石垣や庭土を 叩く／(内)花嫁によ る接待	—	①
42	小林市	(字不明)	ハラメ棒	<柳>・エノキ	○	—	—	—	ハラメウチ	子供組	ハラメ、ハラメ	嫁、家の庭	—	②
43	えびの市	旧加久藤町	ハラメ木	エノキ	?	—	—	男根	ハラメ打ち	子ども衆	孕め候、孕め候	畳、嫁の尻	—	③

①宮崎県1992『宮崎県史 民俗2』 ②小林市史編さん委員会2000『小林市史3』 ③加久藤町郷土誌編纂委員会1965『加久藤町郷土誌』

鹿児島県

44	大口市	小木原・平 出水・八代	ハラメン棒	<イボタ> <山モチ>ほか	○	—	—	男根	ハラメ打ち	子供組	餅ヲモロケ来ンシタ／嫁女いハラメ、嫁女いハラメ	※	※両手に持って振った	①
45		下木場	ハラメン棒・ ハラメボウ	ヤマビワが主 他にハゼ・<山 柿>・<カシワ>	○	—	—	—	ハラメ打ち	男児達	ハラメ、ハラメ、ハラマヌ者ハ、曾木ノ滝ノ七股上ゲタ、 八尋、五ヒーロ、嫁女ヲ見ツシャン	※	※縁側の外から、家の中に向けて、ハラメン 棒を両手に持って突き出したり、ひっこめたり する	①
46		尾ノ上	ハラメ棒	<クロキ ダンベ>	○	—	—	男根	ハラメ	男児達	ハラメ、ハラメ	※	※庭先から突き出す	②
47	菱刈町	徳辺	ハラメ棒	—	?	—	—	男根	ハラメ	男児達	ハラメ、ハラメ、はらまぬ者は曾木の滝に突っ込め	嫁の腹	—	③
48	吉松町	(字不明)	ハラメ木・ ハラメボウ	エノキ・<柳>	○	—	—	男根	ハラメ打ち	子供衆	孕め候、孕め候	畳、初嫁の尻	—	④ ⑤
49	栗野町	全域	(嫁叩き)	ハゼノキなど	?	—	—	男根	ハラメウツ	青年や 男児	—	座敷	—	⑥
50	牧園町	宿窪田 ・瀬戸口	ハラメギ	—	?	—	—	男根	—	男児達	こちらから祝い申しますか(→家の主人:手前から祝い申し ます)	※	床脇に立て飾った	⑦
51	国分市	重久・姫 城	ハラメ棒	—	○	—	—	—	ハラメウツ・ ハラメユエ(祝い)	子供組	ヨメジョダッシャイ、ダッシャラント、ミカヅキナリノ(三日月の ような)コブヲダス	大黒柱※	※大黒柱に押し付け、ハラメ棒の削りくずを 嫁の頭に振りかける	⑧

地域	名称	製作		形状			行事内容				備考	文献		
		材の樹種 学名<方言>		削り	頭 十字	縷 文様	形状 認識	行事名	行事 主体	唱え事			叩く対象など	
鹿児島県(続き)														
52	桜島町	赤水・小池・ 赤生原	—	—	?	—	—	ハラメ	—	ハラメ、ハラメ、ハラマンモノハ…	—	—	⑨	
53	垂水市	浜平・椛 原ほか	棒	<檜>	×	—	—	カウツ・ ハラメウチ	子供達	ハンズ(水がめ)出すか、カッ(垣)出すか、嫁女を出すか /ハラメハラメ	予め作ってあった 垣根	—	⑩	
54	東串良 町	唐仁ほか	ハラメ・ ツツツツサシデ	<檜木>・ コウゾ	×	—	●	—	ツツツツサシデ	男児達	ツツツツサシデ、ハナサシデ、ヤレコレサシデ、ハナサシ デ、ヨメジョ出せ出せよ、出さんコツスレバ、角のオエタ(生 えた)子を生ませ、角のオエタ子を生ませ、ネックリネックリ	予め作ってあった 垣根	—	⑤ ⑪
55	宮之城 町	(字不明)	—	ハゼノキ	○	—	—	ハラメ	子供達	ハラメ、ハラメ、祝ワンモンカイ	庭	—	⑫	
56	始良町	触田ほか	ケズリカケ	イヌブワ <タブノキ>	○	—	—	男根	はらめ	男児達	はらめ、はらめ紅にゆ、くいやん	※	初嫁に差し出すと、嫁は削りかけの先に紅 を付けてやる	⑬ ⑭
57	樋脇町	倉野	削りかけの棒	—	○	—	—	ハラメウチ	子供達	ハラメ、ハラメ	—	—	⑮	
58	蒲生町	(字不明)	—	<小タブ>	?	—	—	男根	はらめうち	男児達	ハラメハラメ	※	竹筒に入れ、初嫁の家でこの棒を出し入れ しておもしろい所作をする	⑯
59	川内市	久見崎町 ほか	祝木(ユエギ)	<山柿>・ <山びわ>	○	—	●	—	はらめうち・ エーモツ	男児達	エーモツ エーモツ 此処シマヤ 良エ妻ジャ 上カラ見テモ ユッサユッサ 下カラ見テモ ユッサユッサ 一升時ッ 二千石 二千石/孕メハラメハラマン者ナ イツチャシテ チャシテ 角 ン生エタ 小法師ドン	土間/雨石/ 田のあぜ	—	⑰
60	日吉町	(字不明)	ハラメ棒	—	○	—	—	孕メ打ち・孕メ祝 イ	子供達	ハラメハラメハラマン者は、業つき川の、嫁を出せ 出せ 出さんと何いもかいも つつくやすど ざらしき ざしき じゃの また、こまぞ	庭先	—	⑱	
61	吹上町	入来ほか	棒	—	—	—	—	ハナベツ (ヨメジョダセ)	子供達	はらめ、はらめ	垣根など	昼は竹鉄砲で障子を射破り、夜は棒で垣根 などたたき破る	⑲ ⑳	
62	鹿児島 市	(旧谷山 市)	はらめんぼー	イヌビワ・ エノキ	?	—	—	—	孕メ打ち	子供達	嫁女をくいやいや、壁をくいやいや/ハラメ、ハラメ、ハラ マンモノハ…	予め作っておいだ垣 ※	嫁女をやると思ったら嫁女を引き出し、壁を くるといったらこれをたたきこわす	㉑ 21
63	加世田 市	内布・鮎 川	(わらっごろ(蕘 打))	—	×	—	—	はらめ	子供組	はらめはらめ、わいがならんこてすれば、すれば、びんた はうん(海)に流すつど、しっぽはかえ(川へ)流すつど、た きんこ枕でかんざしやホットイホットイ	持参したスギの長い 丸太、嫁の家の竹垣	—	22	
64	川辺町	(字不明)	ハラメ棒	—	?	—	—	ハラメ・ハラメウチ	子供組	ハラメ、ハラメ、ハラメはどっからか。伊集院のマツ(町)からよ。 ハラメは一寸ケゴジョ(蚕)のシタミ(しらみ)がグッライ、グッライ	垣・板戸※	嫁ごの出てくるまでカベ(垣)や板戸をたた いた	23	
65	知覧町	永里 (中福良)	ハラメ棒	トキワガキ<ヤ マガキ・ヤマン キ>	○	—	—	男根	ハラメウチ	男児達	ハラメ、ハラメ	前庭、家の戸壁※	※古くは花嫁をこれで叩くこともあったという	24
66	知覧町	東別府	ハラメ棒	—	—	—	—	ハラメウチ	男児達	ハラメ、ハラメ	庭	—	24	
67		西元 (柚木ほか)	ハラメ棒	イヌビワ <カワタツノキ>	○	—	—	—	—	子供達	ハラメ、ハラメ、ハラマンモノハ	道の土手や十字路 になった辻	—	24
68		西元 (東垂水)	ハラメンツエ	タラノキ	×	—	—	ハラメ・ハラメウチ	子供達	ハラメ、ハラメ、ハラマンソー。ハラマンソーイッテ、ナシケハラ マンカイ。ネズンドンガ、ボンボセンデ、ハラマンソー、ハラマンソー	家が大事にしている荷 馬車・水甕・家の柱など	—	24	
69		塩屋	ハラメ	雑木や<松>	○	—	●	男根	ハラメ	子供達	ハラメハラメ、ナシケワヤハラマンカ、ヨメジョダサンナ、ハ ラマンハラマン	庭	—	24 25
70	笠沙町	大当	柳の棒	<柳>	—	—	▲ ※	—	ヨメジョダツ	—	—	嫁	※焼いた柳の皮が巻きつけてあった	26

表1-1 南九州における祝い棒習俗5

71	指宿市	東方ほか	ケズリカケ ハラメツ	イヌビツク ツノキ・エノ キ	○	—	●	—	ハラメウチ、ハラメ ユエ、嫁女祝	子供組	ハラメハラメカズノコヲダッシャイ、ヨメジョヲダッシャイ	庭の土	—	⑤ 27
72	開聞町	脇浦ほか	ハラメ棒	<松>	—	—	—	—	ハラメウツ	子供達	ハラメ・ハラメ・ヨメジョヲダセ・ダサントコサックカヤス(こわ してしま)	地面/嫁の尻	—	⑤ 28
73	山川町	利永ほか	ダセボー	エノキ・クセン ダン・ <タブ>	—	—	▲ ※	—	ハラメウチ	子供組 (男)	ダーセン、ダーセン、ヅギナツタ、ヅギナツタ…	庭の土※	※かつては庭に穴を掘ったり垣根をこわしたり することもあった※手本と先端部の二箇所に、 五等幅のX状の連続文様を一周ずつ入れる	⑤ 29
74	枕崎市	(字不明)	ハラメンボー	—	—	—	—	—	はらめ打ち・嫁女 祝い	子供組 (男)	ハラメ、ハラメ、トッガラメ	石垣や井戸のふち	—	30
75	三島村 (竹島)	(字不明)	ハラノ木	<小タブ>	?	—	●	—	ハラウツ	少年達	去年よっか 今年や 銭もかねも ツンバイツンバイ タマレ タ マレ	長持や櫃	—	⑤
76	里村	(字不明)	ハラメの木	アオモジ※	×	—	—	—	ハラメ出せ	青少年 達	ハラメダーセ出っしやらんツート、垣もなんも残らんドー /ハラメダーセ、出っしやらんツート、がさが生まるい ドー	地面	※つばみのいっばいついたものを用いる	31
77	下飯村	長浜	ケズリカケ	<タブノキ>	○	—	—	—	ダッシャイゼック	子供達	ダッシャイ、出ッシャイ	女子や若い嫁	—	32
78		瀬々野浦	ケズリカケ	アカメガシワ <カシワギ>	○	—	—	—	メッシュウダセダセ	子供達	メツショウ(女子)ダセ ダセ ハラミダセ ハラミダセ	女	—	32
79		青瀬ほか	ケズリカケ	ネムノキ <コウカノキ>	○	—	—	—	ハラミゼック	子供達	ハラミダセ、ハラミダセ	庭の土	—	32
80		手打 (浜)	ケズリカケ	ネムノキ <コウカノキ>	○	—	—	—	ハラメ節句	子供達	ダーセ ダーセ 嫁サン出セ 出サンイウト 壁モ垣モ 打ち破 ル	垣、初嫁	—	32
81	屋久町	宮之浦	ダセメソ	<タブの木>	×	—	●	—	ヨメジョダセ	子供達	嫁女だせだせださぬ時は わいが家は打ち破ってやっど	※	ダセメソの煤を若い娘になすりつける	33
82		小瀬田	—	—	×	—	—	—	ヨメジョサガシ	子供達	出え出え出えよ 女ごども出えよ	家の垣	※娘は握り飯を持って隠れる	34
83		安房	ヨメ女出せ	<タブの木>	×	—	●	—	ヨメ女出せ	子供達	よめ女出せ、ヨメ女出せ	橋→女の尻	—	35

大口市郷土誌編さん委員会1981『大口市郷土誌 上巻』②米原正晃1979「小正月とモノヅクリ」『小正月行事とモノヅクリ—南九州・大和ほか—』日本常民文化研究所 ③菱刈町郷土誌編集委員会1973『菱刈町郷土誌』④吉松郷土誌編集委員会1995『吉松郷土誌』⑤川野和昭1985「小正月祭具考」『陵雲6』鹿児島県立甲陵高等学校 ⑥栗野町郷土誌編纂委員会1975『栗野町郷土誌』⑦牧園町郷土誌編纂委員会1969『牧園町郷土誌』⑧国分郷土誌編纂委員会1998『国分郷土誌 下巻』⑨桜島町郷土誌編さん委員会1988『桜島町郷土誌』⑩垂水市史編纂委員会1998『垂水市史 上巻』⑪東串良郷土誌編纂委員会1980『東串良郷土誌』⑫宮之城町史編纂委員会2000『宮之城町史』⑬始良町郷土誌編纂委員会1968『始良町郷土誌』⑭小野重朗1978『鹿児島歳時十二月』西日本新聞社 ⑮下野敏見1973「年中行事」『川内川流域の民俗1』鹿児島県教育委員会 ⑯蒲生郷土誌編さん委員会1991『蒲生郷土誌』⑰川内郷土史編さん委員会1980『川内市史 下巻』⑱日吉町郷土誌編さん委員会1988『日吉町郷土誌 下巻』⑲吹上郷土誌編纂委員会2003『吹上郷土誌3』⑳鹿児島県教育委員会1965『民俗資料調査報告書』21谷山市誌編纂委員会1967『谷山市誌』22加世田市史編さん委員会1986『加世田市史 下巻』23川辺町郷土史編纂委員会1976『川辺町郷土史』24小野重朗1985「知覧の民俗(二)」『知覧文化22』知覧町立図書館 25知覧町郷土誌編さん委員会2002『知覧町郷土誌』26笠沙町郷土誌編さん委員会1993『笠沙町郷土誌 下巻』27指宿市役所1958『指宿市誌』28開聞町郷土誌編纂委員会1994『開聞町郷土誌』29山川町2000『山川町史』30枕崎市誌編さん委員会1990『枕崎市誌 下巻』31里村郷土誌編纂委員会1985『里村郷土誌 上巻』32文化財保護委員会1966『正月の行事1』33上屋久町郷土誌編纂委員会1984『上屋久町郷土誌』34宮本常一1974『屋久島民俗誌』未来社 35下野敏見1963『屋久島正月習俗 屋久島民俗調査報告』種子島科学同好会